

多面的機能の維持・発揮活動 【コミュニティ部門】

むらおこしかみみいと
むらおこし・かみみいと(明和町)

美しい緑を守る思い、次世代に伝える むらおこし

活動の状況 (認定農用地面積A = 165.2ha)

我らが「むらおこし・かみみいと」は、11地域の人達が各地区での年間活動計画を立て、農道や老朽化の進む施設の補修等を行い、深い排水路の法面に防草シートを張り、花を植えるなどの環境保全にも取り組んでいます。一方では、全体の活動として役員が中心になって地域内にある小学校と連携を図り、平成19年より毎年4年生が、近くを流れる祓川での水生生物庁舎を行い、水の果たす役割や水生生物の命を守る大切さを教えています。また3年生と5年生には昔ながらの手作業による田植え・稲刈り・脱穀作業の稲作を体験してもらっています。そして生物調査については生態系保全や川に歴史などの内容、稲作りについては『お米博士』と称し、小学校の事業で教壇に立ち教えています。



資源向上の共同活動として、農業用水路の水が切れる8月の下旬に農村環境保全の為に水の切れた水路に残された淡水魚を地域の子供達やその親をもまじえ「魚救出作戦」名をうち生きたまま祓川へもどしています。魚の中には貴重なタナゴ・うなぎもあり子供達にまじり構成員も大騒ぎをしています。

資源向上の多面的機能の増進を図る目的で地域内にある上御糸小学校と連携して5年生・3年生による昔ながらの手作業による田植えを実施しています。

今年は5年生35名、3年生45名が参加し、「つめた～い(〇) / !ぬるぬるしてキモチわるい～」と大騒ぎしながら植えました。

また、構成員が教壇に立ちお米作りについての勉強も行なっています。

秋には稲刈りを、12月には収穫祭として、自分達で収穫したお米を使って地域の人々と小学校とが一緒になって体育館で大餅つき大会をしています。

